



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL https://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 宮腰 尊史 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,290	△17.0	510	△54.8	569	△51.5	399	△43.6
2020年3月期第3四半期	16,004	14.6	1,130	108.5	1,174	99.4	709	72.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 644百万円 (△14.7%) 2020年3月期第3四半期 756百万円 (537.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	66.63	—
2020年3月期第3四半期	118.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	24,564	18,763	67.7	2,773.00
2020年3月期	24,094	18,172	66.9	2,687.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,634百万円 2020年3月期 16,119百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
2021年3月期	—	3.75	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,610	△8.7	895	△42.2	953	△40.2	515	△27.8	85.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,000,000株	2020年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,102株	2020年3月期	1,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,998,898株	2020年3月期3Q	5,998,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,526	△13.1	215	△62.2	206	△49.2	34.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. (参考) 個別業績の概要	10
(1) 個別経営成績	10
(2) 個別財政状態	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大により、依然として厳しい状況が続いています。5月の緊急事態宣言の全面解除後、経済活動が再開し始め、個人消費や企業の生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、感染症拡大の第2波、第3波が生じたため経済活動は新型コロナウイルス感染症の動向に左右される状況となっています。国内外において経済を悪化させるリスクが排除しきれないため、景気の先行きは不透明な状況が続くものと認識しております。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、感染防止に努めながら各事業部門において新生活様式を意識した積極的な営業活動とサービスの提供に努めました。第3四半期においては、一部の広告市況で回復の動きが見られたものの、これまでの減収を補うには至りませんでした。その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は132億9千万円（前年同期比83.0%）となり、前年同期に比べ27億1千3百万円の減収となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は5億1千万円（前年同期比45.2%）、経常利益は5億6千9百万円（前年同期比48.5%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9千9百万円（前年同期比56.4%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## 〔放送事業〕

放送事業におきましては、一部の広告市況で回復の兆しが見えたものの、収益の柱ともいえるスポット広告の伸び悩みなどにより収入を押し上げることができず、ラジオ収入・テレビ収入ともに前年同期比を下回りました。その他の収入においても、新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や自粛が相次ぎ、前年同期を大きく下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39億6千万円（前年同期比82.6%）となり、営業利益では9千3百万円（前年同期比23.9%）となりました。

## 〔情報処理サービス事業〕

情報処理サービス事業におきましては、新型コロナウイルスの影響による首都圏での開発案件の落ち込みを、県内でのシステム導入の請負で補う形となりましたが、消費税増税前の駆け込み需要があった前期には及びませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は86億5千万円（前年同期比81.1%）となり、営業利益は3億7千1百万円（前年同期比51.2%）となりました。

## 〔建物サービスその他事業〕

建物サービスその他事業におきましては、不動産収入で所有駐車場の売り上げが減収となったものの、施設管理部門では、新規の管理受託先を受注したことにより増収となりました。工事管理部門ではオフィスビルの空調設備更新工事や商業施設の水道・電力メーターの更新工事が売り上げを伸ばしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10億8千7百万円（前年同期比105.0%）となり、営業利益では4千9百万円（前年同期比287.5%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は245億6千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億7千万円増加いたしました。

資産の部では、流動資産が123億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千7百万円増加しております。これは主に現金及び預金が6億6千9百万円、受取手形及び売掛金が8億6千3百万円減少したものの、たな卸資産が16億1千1百万円、その他の流動資産が2億8千8百万円増加したことなどによります。固定資産は、122億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億2百万円の増加となりました。これは有形固定資産が1億9千8百万円減少したものの、無形固定資産が5千7百万円、投資その他の資産が2億4千3百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債が47億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7千万円増加しております。これは主にリース債務が1億7千8百万円、未払法人税等が1億3千2百万円、賞与引当金が6千2百万円、その他の流動負債が3千6百万円減少したものの、未払金が6億3千2百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は10億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億9千万円の減少となりました。これは主にリース債務が2億2千8百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加3億5千4百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億5千9百万円、非支配株主持分の増加7千4百万円などにより187億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億9千万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は67.7%となり、前連結会計年度末に比べて0.8ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲が予測できないことなどから世界経済、国内景気は不安定な状況が続き、企業業績の推移によって収益の柱であるテレビスポット広告の動向は、不透明感を拭い去れない状況が続くものと思われま

す。このような景気見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において新生活様式を意識した積極的、かつ、きめ細やかな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。

以上の見通し及び方針に基づき、業績予想につきましては、2020年9月1日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想、個別業績予想ともに数値を修正しております。

詳細につきましては、2021年2月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,869,236	6,199,695
受取手形及び売掛金	4,150,461	3,286,793
商品	204,432	1,410,555
原材料	14,403	12,945
仕掛品	173,499	580,671
その他の流動資産	538,503	826,662
貸倒引当金	△5,919	△5,138
流動資産合計	11,944,617	12,312,184
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,298,899	2,452,770
土地	2,416,652	2,416,652
リース資産（純額）	1,139,050	782,284
その他（純額）	698,592	703,096
有形固定資産合計	6,553,194	6,354,804
無形固定資産	363,344	421,272
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,765,906	2,932,333
退職給付に係る資産	1,449,280	1,601,625
繰延税金資産	458,633	385,958
その他の投資及びその他の資産	586,107	582,670
貸倒引当金	△26,296	△25,864
投資その他の資産合計	5,233,632	5,476,723
固定資産合計	12,150,170	12,252,801
資産合計	24,094,788	24,564,986

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,555,232	3,187,829
短期借入金	375,800	360,800
リース債務	547,729	369,205
未払法人税等	275,282	142,610
賞与引当金	418,354	355,578
その他の引当金	48,200	12,200
その他の流動負債	382,837	345,945
流動負債合計	4,603,435	4,774,169
固定負債		
長期借入金	24,700	16,600
役員退職慰労引当金	119,770	78,250
退職給付に係る負債	215,241	204,657
リース債務	905,674	676,930
その他の固定負債	53,287	51,239
固定負債合計	1,318,672	1,027,676
負債合計	5,922,108	5,801,845
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	15,793,569	16,148,286
自己株式	△805	△805
株主資本合計	16,098,515	16,453,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,968	194,213
退職給付に係る調整累計額	△14,103	△12,472
その他の包括利益累計額合計	20,864	181,740
非支配株主持分	2,053,299	2,128,167
純資産合計	18,172,680	18,763,140
負債純資産合計	24,094,788	24,564,986



## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	16,004,013	13,290,160
売上原価	11,553,342	9,677,665
売上総利益	4,450,671	3,612,495
販売費及び一般管理費	3,319,681	3,101,738
営業利益	1,130,990	510,757
営業外収益		
受取利息	2,805	6,510
受取配当金	58,369	62,543
受取賃貸料	6,220	6,815
有価証券売却益	—	18
その他	11,632	22,420
営業外収益合計	79,026	98,308
営業外費用		
支払利息	12,598	9,281
有価証券売却損	—	1
その他	23,196	30,483
営業外費用合計	35,795	39,766
経常利益	1,174,221	569,299
特別利益		
固定資産売却益	55	—
投資有価証券売却益	75,696	123,277
特別利益合計	75,752	123,277
特別損失		
固定資産除却損	5,472	1,203
固定資産売却損	30,988	—
投資有価証券売却損	—	1,250
投資有価証券評価損	—	27,224
特別損失合計	36,460	29,678
税金等調整前四半期純利益	1,213,512	662,898
法人税等	332,934	178,949
四半期純利益	880,577	483,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	171,421	84,240
親会社株主に帰属する四半期純利益	709,156	399,708

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	880,577	483,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,743	159,177
退職給付に係る調整額	8,212	1,630
その他の包括利益合計	△124,530	160,807
四半期包括利益	756,047	644,756
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,661	560,584
非支配株主に係る四半期包括利益	171,385	84,172

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響について）

前連結会計年度末に仮定した新型コロナウイルス感染症の影響については、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,749,587	10,576,389	678,036	16,004,013	—	16,004,013
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,700	84,226	357,674	488,601	△488,601	—
計	4,796,288	10,660,616	1,035,710	16,492,615	△488,601	16,004,013
セグメント利益	390,315	725,304	17,335	1,132,955	△1,964	1,130,990

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,913,711	8,590,315	786,133	13,290,160	—	13,290,160
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,635	60,100	301,193	407,929	△407,929	—
計	3,960,346	8,650,415	1,087,327	13,698,089	△407,929	13,290,160
セグメント利益	93,292	371,104	49,832	514,229	△3,472	510,757

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4.（参考）個別業績の概要

## （1）個別経営成績

2021年3月期第3四半期の業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,960	△17.4	93	△76.1	162	△64.7	237	△41.0
2020年3月期第3四半期	4,796	△4.8	390	21.0	458	13.9	402	17.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	39.61	—
2020年3月期第3四半期	67.10	—

## （2）個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2021年3月期第3四半期	13,116	12,012
2020年3月期	12,794	11,660